

科目名 (科目番号)	地域・在宅看護論実習	教員名 福田久子 藤咲美輝	学科等	看護	必修	履修年次	4
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	A314研究室(福田) A313研究室(藤咲)	
授業概要	県内の訪問看護ステーションを実習施設として、訪問看護師と同行訪問し在宅療養者とその家族に対する訪問看護の実際を学び、看護過程を理解するとともに在宅看護活動を学ぶ。また、受け持ち事例について、必要に応じ主治医、市町村介護保険担当部門等との連絡・連携に同行し、在宅ケアシステムや介護保険制度を理解する。						
目的・目標	目的:在宅療養者とその家族の現状を理解し、在宅看護の役割と実際を学ぶ。						
準備学習							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容				
	1. 学習内容 地域の中で健康障害を持ちながら療養生活をする人々やその家族・介護者を理解し、在宅における看護の機能と役割について訪問看護師の実践活動から学ぶとともに、地域包括ケアシステムにおける多職種協働の意義・実践に応じた看護を実践するための能力と態度を養う。 2. 到達目標 1) 訪問看護の機能と役割について学ぶ (1) 訪問看護を利用している受け持ち利用者を中心に、療養者の在宅療養の状況、疾患、看護援助および家族・介護者の状況について理解する。 (2) 訪問看護に同行し、在宅看護に必要な基本的な看護技術を学ぶ。 (3) 訪問看護における看護師の役割について理解する。 (4) 地域で生活する疾病や障害を持つ人とその家族のケアニーズについて、生活習慣・価値観・地域の特性を踏まえた看護過程を学ぶ。 (5) 居宅介護サービス計画に位置付けられている訪問看護の役割について理解する。 (6) 療養者への訪問看護を提供するなかで、連携が必要な関係機関やその必要性、連携方法について理解する。 2) 生活の場における看護過程の展開について学ぶ (1) 看護の目的を明確にし、対象者に関心を寄せ、関係を形成することができる。 (2) 対象者や看護のケアニーズをアセスメントするために必要な情報を多面的・系統的に収集し、整理することができる。 (3) 受け持ち療養者および家族の生活や療養上の問題について、その経過を観察し援助を必要とする内容についてアセスメントができる。 (4) 看護上の問題ごとに、目標を設定することができる。 (5) 看護上の問題を明確化し、優先順位を適切につけることができる。 (6) 分析・判断に基づく、個性のある訪問看護で実践可能な看護計画を立案することができる。 (7) 看護過程を振り返り、実践した看護の意味や課題について、テーマを取り上げて学内カンファレンスで発表することができる。 3) 通所リハビリテーションの機能と役割について学ぶ (1) 通所リハビリテーションの利用者のADL、IADLの状況を知る。 (2) 通所リハビリテーションのサービス利用に対する利用者本人の思いを知る。 (3) 通所リハビリテーションに参加している利用者の1日の過ごし方を知る。 (4) 利用者と共にサービスプログラムに参加し、サービス内容とその効果について考えることができる。 (5) サービス提供に関わる職種の役割と連携について理解する。 4) 居宅介護支援事業所の機能と役割、および介護支援専門員が行うケアマネジメントの実際を学ぶ (1) 居宅介護支援事業所や介護支援専門員の業務内容について知る。 (2) 在宅療養者を地域で支援するために必要なケアマネジメントについて学ぶ。 (3) 居宅介護サービス計画の立案からモニタリングにまでを学ぶ。 (4) サービス担当者会議の役割について知る。						
成績評価の方法・基準	臨地時：在宅看護論実習要項の評価表に基づき、事前課題、実習記録、実習態度、実習レポートを総合して評価する。 学内・オンライン時：在宅看護論学内・オンライン実習の評価表に基づき、事前課題、実習記録、実習態度、実習レポートを総合して評価する。						
教科書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤、地域・在宅看護の実際 (地域・在宅看護概論・援助論で購入済)		河原加代子 著者代表		医学書院		
参考図書	1.ナーシング・グラフィカ 地域療養を支えるケア 第8版 2.ナーシング・グラフィカ 地域療養を支える技術 第3版 3.強みと弱みからみた地域・在宅看護過程 第2版		1.臺有佳 ほか編 2.臺有佳 ほか編 3.河野あゆみ 他編		1.メディカ出版 2.メディカ出版 3.医学書院		
教員からのメッセージ	地域・在宅看護論実習は、地域・在宅看護概論・地域・在宅看護援助論で学んだ在宅看護に関する知識と基礎看護学及び基礎看護技術で習得した看護技術を基に、訪問看護ステーション及び在宅ケア関連施設での実習を行います。在宅看護では、療養者個人の居宅に同行訪問し、実習を行いますので、実習に取り組む態度、積極性、一般の社会規範等を守った行動・言動をとりましょう。学内やオンライン実習に伴い実習計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。病院で看護師として勤務の経験がある教員がこの授業を担当します。						